

図2-1：調査地案内図（縮尺=1：25,000）

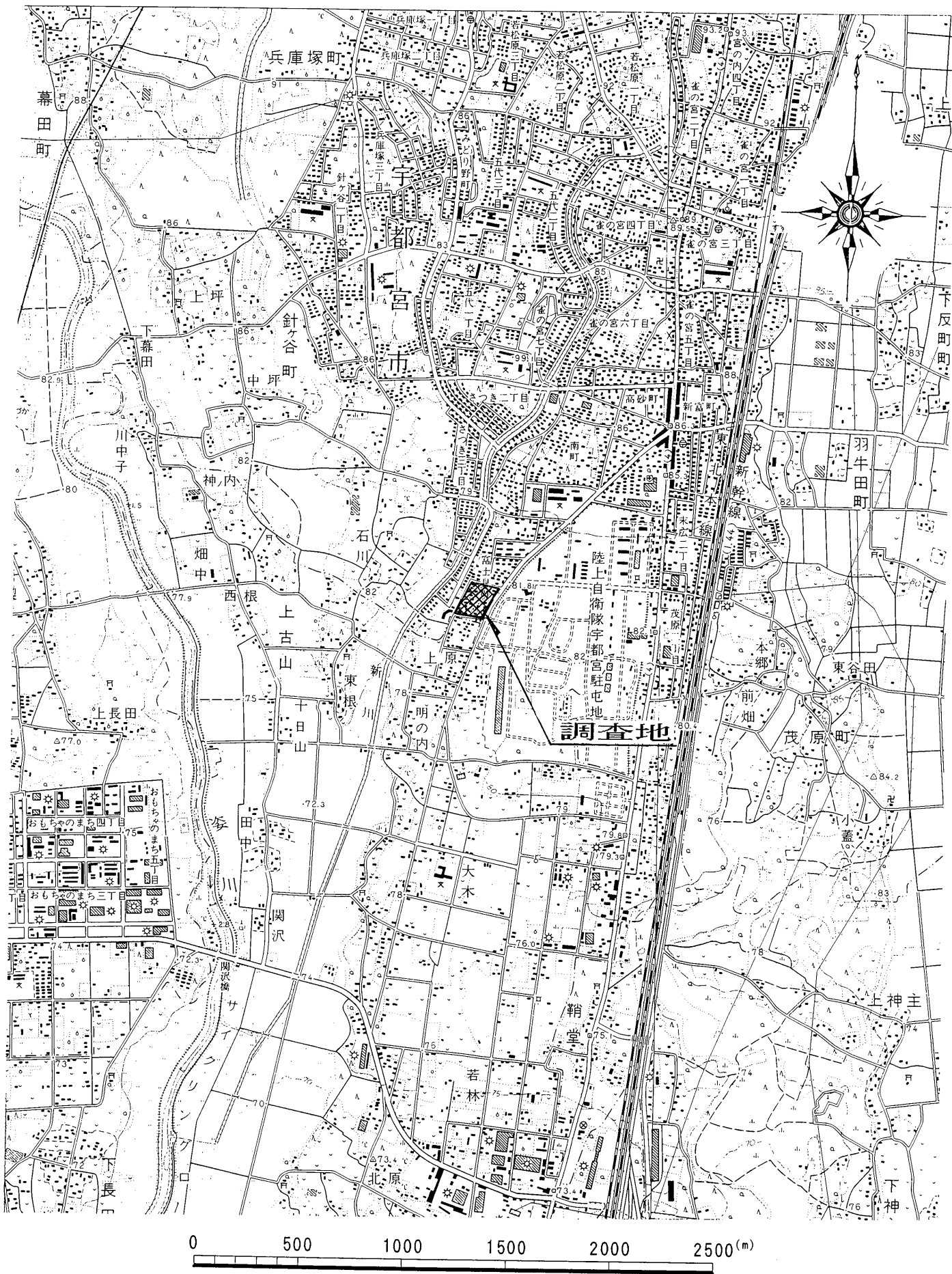


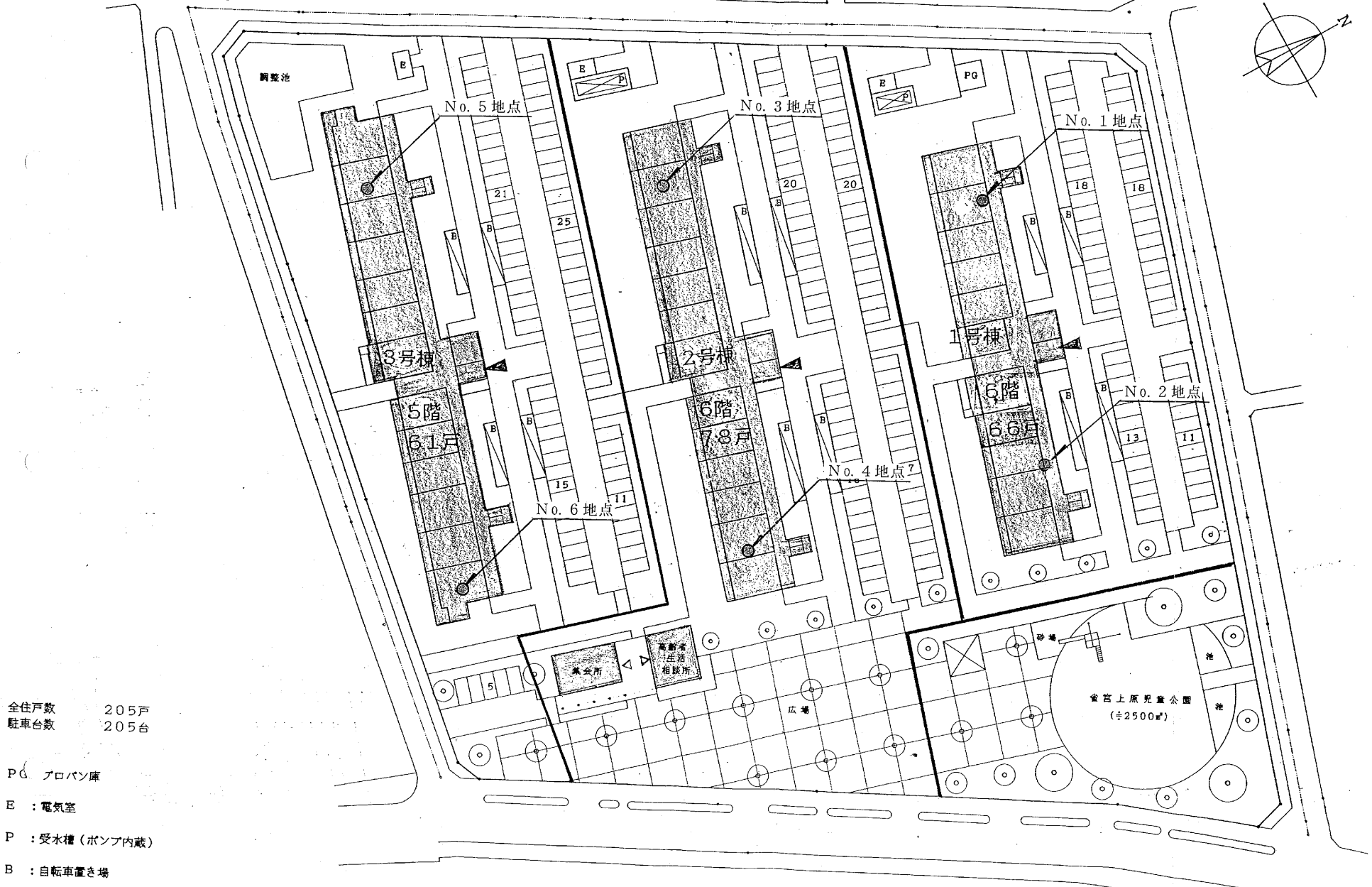
図2-2:調査地点位置図 その1 (現況平面図)



KBM
(BM.No.5)

ボーリング位置図

図2-3：調査地点位置図 その2 (計画平面図)



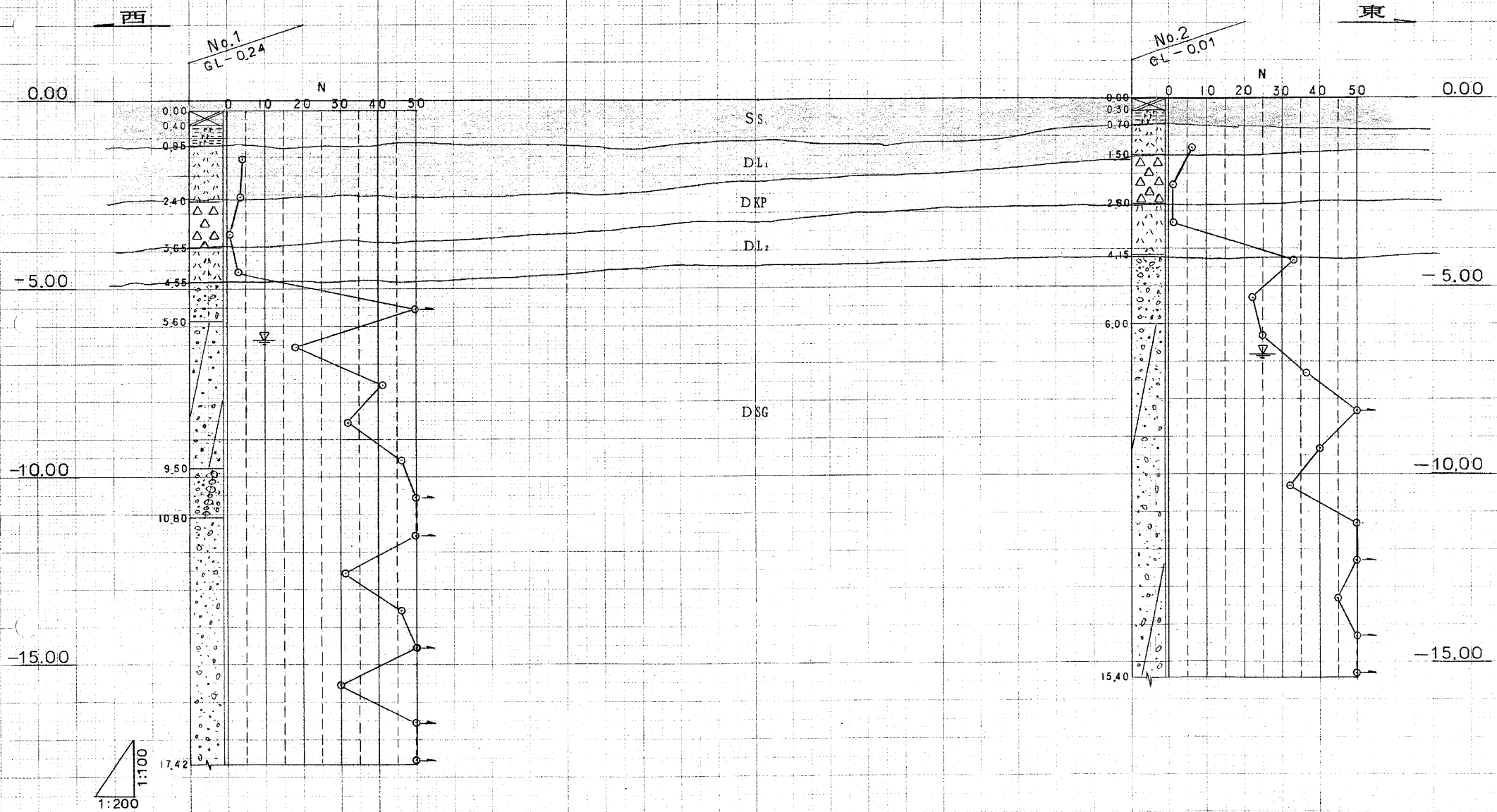
全住戸数 205戸
 駐車台数 205台

- PG プロパン庫
- E : 電気室
- P : 受水槽 (ポンプ内蔵)
- B : 自転車置き場

配置計画図

1号棟 想定土層断面図

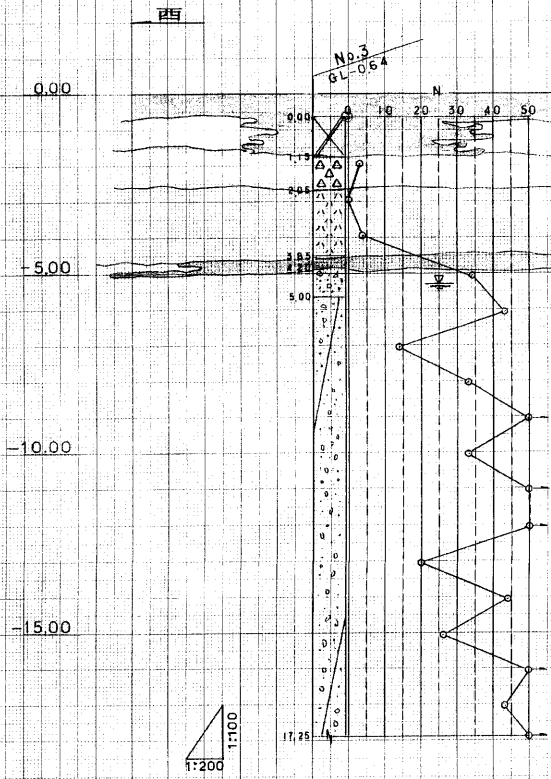
凡		例	
記号	土層名	記号	土層名
Ss	表土(盛土・有機質シルト)	DCT	凝灰質粘土
DL	田原ローム	DS	砂
DKP	鹿沼軽石	DSC	段丘礫層
DL ₂	宝木ローム		



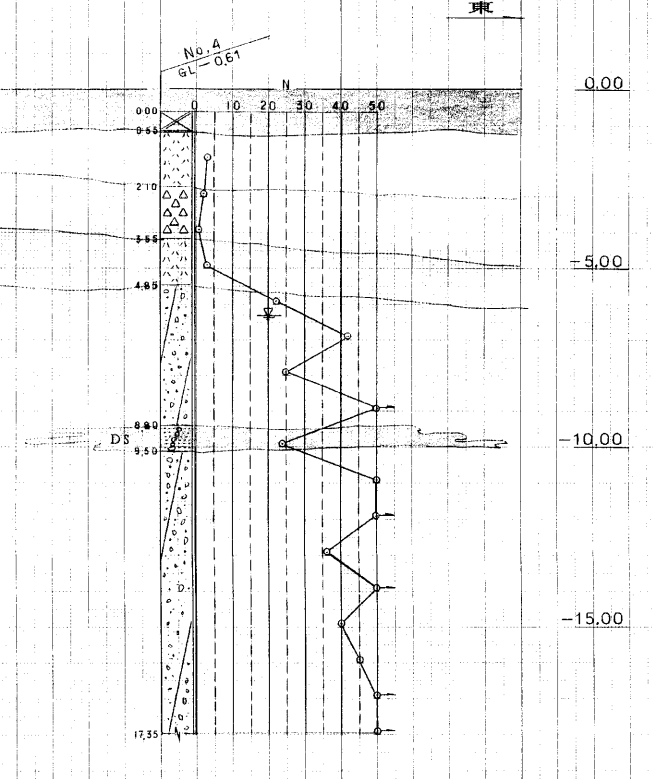
2号棟 想定土層断面図

凡例

記号	土層名	記号	土層名
SS	表土(盛土・有機質シルト)	DG-T	凝灰質粘土
DL	田原ローム	D3	砂
DKP	鹿沼軽石	DSG	段丘礫層
DL1	宝木ローム		

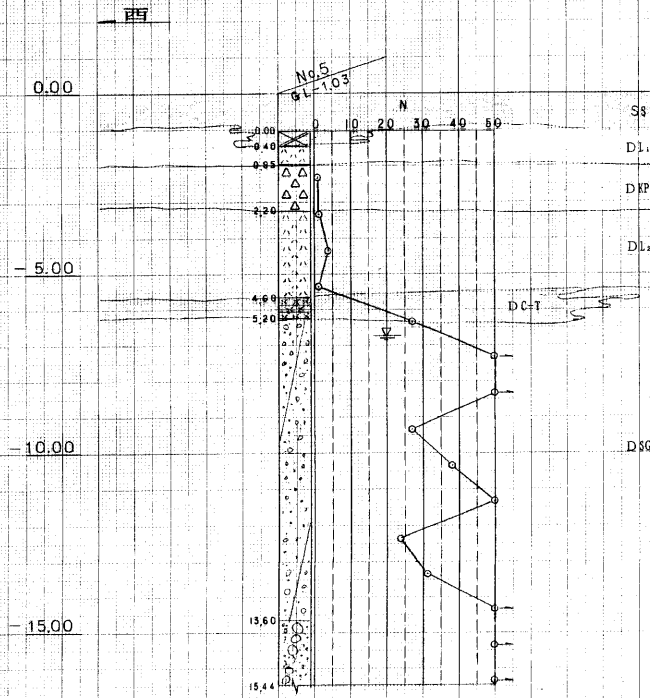


24

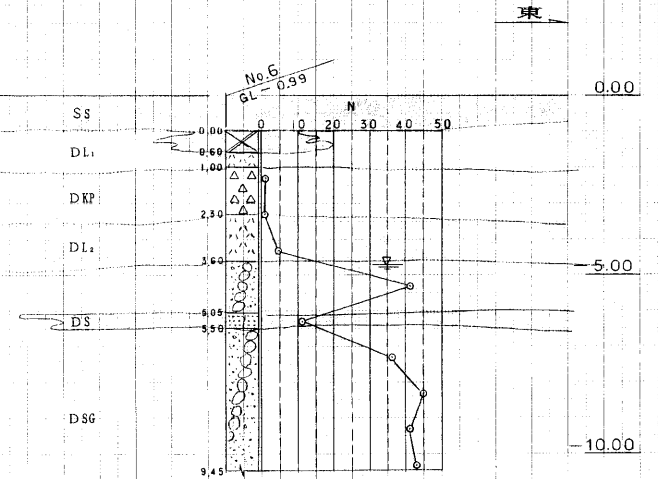


24

3号棟 想定土層断面図



凡		例	
記号	土層名	記号	土層名
	表土(盛土・有機質シルト)	DC-T	凝灰質粘土
DL1	田原ローム	DS	砂
DKP	鹿沼軽石	DSG	段丘礫層
DL2	宝木ローム		



土 質 柱 状 図

調 査 名 上原市営住宅新築工事地質調査業務委託
 調査年月日 11年10月21日
 調査地点 宇都宮市富士見町37~4, 5
 標 高 GL-0.24 m
 ~11年10月25日
 ボーリング孔 No.1
 機種 D1-C
 孔内水位(自然, 泥) 6.10 m
 調査責任者

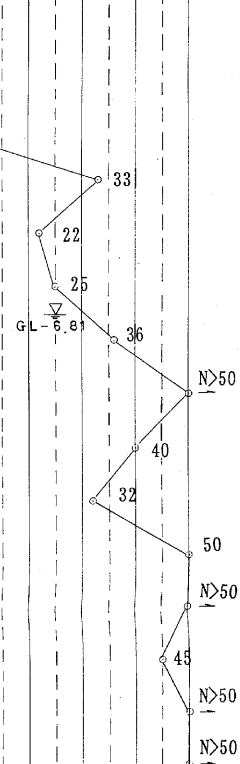
縮尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験											
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	標準貫入 値/cm	10cmごとの 打撃回数			N 値						
										10cm	20cm	30cm	0	10	20	30	40	50	60
0	GL-0.24				盛土	暗黒褐	碎石, 砂利等を混入した土砂。												
1	-0.64	0.40	0.40		有機質シルト	黒 褐	腐植に富むシルトよりなる。上部、草根混る。	1.15	4/30	2	1	1		4					
2	-1.19	0.95	0.55		ローム	暗茶褐 暗黄褐	上部腐植混入。深度2m付近で軽石を若干量混入し、以下多量に混入している。含水比中位程度で固結状を呈すが、軽石の混入に伴い軟らかい性状と化する。	1.45 2.15	4/32	1	2	1		3.8					
3	-2.64	2.40	1.45		軽石	黄 橙	径20~40mm程度の亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粗砂。上部、砂の占有率が高い、全体に含水比高く締まっている。	2.47 3.15	1/40	1/40				0.8					
4	-3.89	3.65	1.25		ローム	茶 褐	径2~5mm程度で団粒状を呈す。含水比著しく高く、軟らかい。上部、ブロック状にロームを混入している	3.50 4.15	3/30	1	1	1		3					
5	-4.79	4.55	0.90		砂 礫	暗褐灰	径20~40mm程度の亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粘土~粗砂。深度6.30m付近粘土を挟む。深度7.30m付近で逃水を生じ、下部は全体的に若干の逃水を伴う。	4.45 5.15	50/26	17	20	13/6							N>50
6	-5.84	5.60	1.05		粘土混り 砂礫	茶 褐	径20~30mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粗砂。上部、砂の占有率が高い、全体に含水比高く締まっている。	5.41 6.15	18/30	9	5	4		18					
7			3.90				径20~30mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粗砂。上部、砂の占有率が高い、全体に含水比高く締まっている。	6.45 7.15	41/30	8	19	14							
8							径20~40mm程度の亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粘土~粗砂。深度6.30m付近粘土を挟む。深度7.30m付近で逃水を生じ、下部は全体的に若干の逃水を伴う。	7.45 8.15	32/10	9	11	12		32					
9	-9.74	9.50			玉石混り 砂礫	暗茶褐	径100~150mm程度の玉石を多量に混入した砂礫。礫は径20~40mmの亜角礫を主体とし、マトリックスは粘土~粗砂。	8.45 9.15	46/30	8	13	25							
10	-11.04	10.80	1.30				径20~40mm程度の亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粗砂よりなる。深度12m付近、層厚0.5m程度の粗砂を挟む。深度16.50m付近より、径100mm程度の玉石が混る。深度12.50~13.00m間、逃水を伴う。	9.45 10.15	50/29	16	16	18/9							N>50
11							径20~40mm程度の亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粗砂よりなる。深度12m付近、層厚0.5m程度の粗砂を挟む。深度16.50m付近より、径100mm程度の玉石が混る。深度12.50~13.00m間、逃水を伴う。	10.44 11.15	50/26	20	21	9/6							N>50
12							径20~40mm程度の亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粗砂よりなる。深度12m付近、層厚0.5m程度の粗砂を挟む。深度16.50m付近より、径100mm程度の玉石が混る。深度12.50~13.00m間、逃水を伴う。	11.41 12.15	31/30	10	10	11		31					
13							径20~40mm程度の亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粗砂よりなる。深度12m付近、層厚0.5m程度の粗砂を挟む。深度16.50m付近より、径100mm程度の玉石が混る。深度12.50~13.00m間、逃水を伴う。	12.45 13.15	46/30	12	14	20							
14			6.62				径20~40mm程度の亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粗砂よりなる。深度12m付近、層厚0.5m程度の粗砂を挟む。深度16.50m付近より、径100mm程度の玉石が混る。深度12.50~13.00m間、逃水を伴う。	13.45 14.15	50/28	25	15	10/8							N>50
15							径20~40mm程度の亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粗砂よりなる。深度12m付近、層厚0.5m程度の粗砂を挟む。深度16.50m付近より、径100mm程度の玉石が混る。深度12.50~13.00m間、逃水を伴う。	14.43 15.15	30/30	9	9	12		30					
16							径20~40mm程度の亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粗砂よりなる。深度12m付近、層厚0.5m程度の粗砂を挟む。深度16.50m付近より、径100mm程度の玉石が混る。深度12.50~13.00m間、逃水を伴う。	15.45 16.15	50/25	18	19	13/5							N>50
17	-17.66	17.42					径20~40mm程度の亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粗砂よりなる。深度12m付近、層厚0.5m程度の粗砂を挟む。深度16.50m付近より、径100mm程度の玉石が混る。深度12.50~13.00m間、逃水を伴う。	16.40 17.15	50/27	20	17	13/7							N>50
18								17.42											

備 考
 注1) 試料採取方法の記号
 T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー
 P: 標準貫入試験用ンブラー O: オーガー
 D: デニソン型サンラー
 注2) 原位置試験方法の記号

土 質 柱 状 図

調 査 名 上原市営住宅新築工事地質調査業務委託 調査年月日 11年10月21日
 調 査 地 点 宇都宮市富士見町37~4, 5 標 高 GL-0.01 m ~11年10月25日
 ボーリング孔 No.2 機種 D1-C 孔内水位(自然, 泥) 6.80 m 調査責任者

縮尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験																
				土質 記号	土質 名	色 調	記 事	深さ m	撻 入 量 cm	10cmごとの 打撃回数			N 値											
										10cm	20cm	30cm	0	10	20	30	40	50	60					
	GL-0.01																							
	0.31	0.30	0.30	△△△	盛土	暗褐	碎石・砂利等を混入した土砂。																	
	0.71	0.70	0.40	≡≡≡	有機質シルト	黒褐	腐植に富むシルトよりなる。ところ	1.15																
1	1.51	1.50	0.80	△△△	ローム	暗茶褐~暗黄褐	どこ腐植物が混る。		6/30	2	2	2								6				
2				△△△	軽石	黄橙	上部固結状を呈し、わずかに腐植が混る。下部軽石片を混入している。径1~6mm程で、団結状を呈す軽石風化しており、著しく高い含水比と弱い粘性を帯びている。下層部1~2mm程のスコリアが混る。	1.45													1			
	2.81	2.80	1.30	△△△						2.15	1/30	1/30												
3				△△△	ローム	茶褐		2.45																
	4.16	4.15	1.35	△△△						3.15	1/30	1/30												
4				△△△	砂礫	茶褐 暗褐灰	粘土化したローム。ところどころに炭化物が混る。深度3.70m付近より粒径が揃いの細砂が多量に混入している。	3.45																
	6.01	6.00	1.85	△△△						4.15	33/30	9	11	13										
5				△△△	粘土混り 砂礫	茶褐	径2~30mmの垂円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粒径の不揃いな粗砂よりなる。孔壁の崩壊激しく若干の逃水が見られる。径2~30mmの垂円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。ところどころに径50mm程の垂円礫が点在している。深度8.0m付近より粘土の占有率が高く、径40~60mmの垂円礫が点在。深度10.60m以下、径10~50mmの垂円礫を主体とする砂礫で、ところどころに径100~150mmの玉石が混入している。	4.45																
				△△△						5.15	22/30	7	7	8										
6				△△△						6.15	25/30	12	11	12										
				△△△						7.15	36/30	13	11	12										
7				△△△						8.15	50/24	24	19	7/4										
				△△△						9.15	40/30	17	13	10										
8				△△△						10.15	32/30	12	8	12										
				△△△						11.15	50/30	17	15	18										
9				△△△						12.15	50/25	18	19	13/5										
				△△△						13.15	45/30	13	15	17										
10				△△△			14.15	50/27	17	18	15/7													
				△△△			15.15	50/25	15	20	15/5													
11	15.41	15.40		△△△			15.40																	
12																								
13																								
14																								
15																								
16																								
17																								
18																								
19																								
20																								
21																								
22																								
23																								
24																								
25																								
26																								
27																								
28																								
29																								
30																								

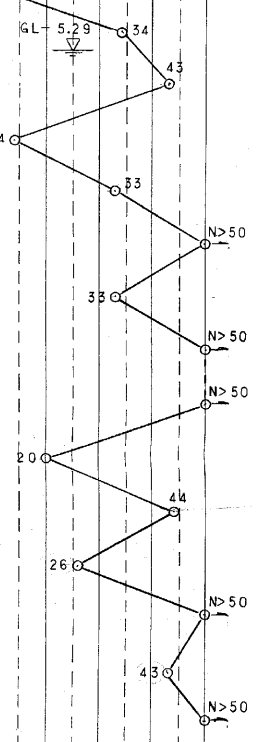


備 考 注1) 試料採取方法の記号 T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー D: デニソン型サンラー 注2) 原位置試験方法の記号

土 質 柱 状 図

調 査 名 上原市営住宅新築工事地質調査業務委託
 調査年月日 11年10月26日
 調査地点 宇都宮市富士見町37~4, 5
 標 高 GL-0.64 m
 ~11月10月29日
 ボーリング孔 No.3 機種 D1-C 孔内水位(自然, 泥) 4.65 m 調査責任者

縮 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験												
				土 質 記 号	土 質 名	色 調	記 事	深 さ m	打 撃 量 / 貫入量 回/cm	10cmごとの 打 撃 回 数			N 値							
										10cm	20cm	30cm	10	20	30	40	50			
0	GL-0.64																			
1	-1.79	1.15	1.15	△△△	盛 土	灰~ 暗黄褐	ロームを主体とする盛土。地表部10cm程、碎石0~30。下部に岩塊(大谷石)、針金等の産廃物が混る。	1.15	3/30	1	1/15	1/5	3							
2	-2.69	2.05	0.90	△△△	軽 石	黄 橙	径1~6mm程で、団粒状を呈している。風化しており、含水比著しく高く、弱い粘性を有す。ところどころ径2mm程のスコリアが混る。	1.45	0/30				0							
3			1.80	△△△	ローム	茶 褐	粘土化したローム。上部著しく軟らかく、強い粘性を有す。下部やや固く、炭化物・火山ガラス等の混入が見られる。	2.45	4/30	1	1	2	4							
4	-4.49	3.85	0.35	△△△	砂	灰	粒径不揃いの細砂よりなる。含水比中位を呈し、やや締まっている。	3.45	34/30	12	10	12								
5	-4.84	4.20	0.80	△△△	砂 礫	灰 褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫。マトリックスは粗砂よりなる。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。	4.15	43/30	15	14	14								
6	-5.64	5.00		△△△	砂 礫	灰 褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。	5.45	14/30	5	4	5								
7			12.25	△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	6.45	33/30	15	11	7								
8				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	7.15	50/20	23	27									
9				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	8.15	33/30	13	10	10								
10				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	9.15	50/25	13	20	17/5								
11				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	9.45	50/25	20	20	10/5								
12				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	10.40	20/30	9	6	5								
13				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	11.15	43/30	12	18	14								
14				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	11.40	26/30	9	8	9								
15				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	12.15	50/24	18	26	16/4								
16				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	12.45	43/30	18	15	10								
17	-17.89	17.25		△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	13.15	50/10	50										
18				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	14.15												
19				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	14.45												
20				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	15.15												
21				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	15.45												
22				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	16.15												
23				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	16.45												
24				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	17.15												
25				△△△	粘土混り 砂 礫	褐	径10~40mmの亜円礫を主体とする砂礫で、マトリックスは粘土~粗砂。深度7.0m付近より、径100~150mmの玉石がところどころに混入している。孔壁の崩壊激しく、若干の逃水を伴う。深度12.0~13.0m間、孔壁の崩壊ならびに逃水激しい。深度14.0m付近より、径10~50mmの亜円礫が主体となり、マトリックスは粘土~粗砂よりなるが、粘土の占有率が低下している。ところどころに径150~300mmの玉石点在している。	17.25												

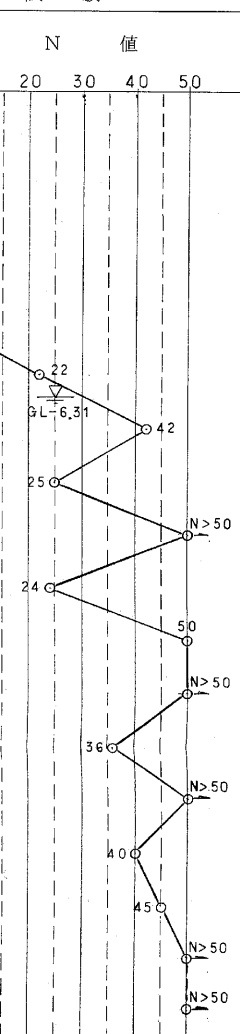


備 考 注1) 試料採取方法の記号
 T: シンワールサンプラー F: フォイルサンプラー
 P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー
 D: デニソン型サンプラー 注2) 原位置試験方法の記号

土 質 柱 状 図

調 査 名 上原市営住宅新築工事地質調査業務委託
 調 査 地 点 宇都宮市富士見町37~4, 5
 ボーリング孔 No.4
 機 種 D1-C
 標 高 GL-0.61 m
 孔内水位(自然, 泥) 5.70 m
 調査年月日 11年10月26日
 ~11月10月28日
 調査責任者

縮 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験										
				土質記号	土質名	色 調	記 事	深さ m	推 入 量 cm	10cmごとの 打 撃 回 数			N 値					
										10cm	20cm	30cm	10	20	30	40	50	
0	GL-0.61	-1.16	0.55	0.55	盛土	黒 褐	有機質シルトを主体とする盛土。全体にガラス片等産廃物混入。上部草根繁茂。	1.15	3/30	1	1	1						
1				1.55	ローム	暗 褐	上部腐植を混入して暗褐色を呈す。	1.45										
2		-2.71	2.10			茶 褐	含水比中位程度で固結状を呈し、弱い粘性を有す。下部軽石が混る。	2.15	2/32	1/18	1/14							
3		-4.16	3.55	1.45	軽石	黄 橙	径2~5mm程度で固粒状を呈す。ところどころに径1~2mmの炭化物・スコリアを混入。著しく含水比が高い。	2.47										
4				1.30	ローム	茶 褐		3.15	1/45									
5		-5.46	4.85					3.60										
6				3.95	粘土混り砂礫	暗 褐 灰	粘土化したローム。含水比高く軟らかい。下部5mm程の礫を若干量混入。径10~60mmの亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粘土混りの粗砂よりなる。上部粘土の占有率が高く緩い。	4.15	3/30	1	1	1						
7								4.45	22/30	8	5	9						
8								5.15										
9		-9.41	8.80				粒径の揃った粗砂。最大5mm程度の礫を若干量混入。	5.45										
10		-10.11	9.50	0.70	礫混り粗砂	褐 灰		6.15	42/30	17	14	11						
11								6.45										
12								7.15	25/30	10	9	6						
13								7.45										
14								8.15	50/25	19	23	8/5						
15								8.40										
16								9.15	24/30	5	7	12						
17		-17.96	17.35					9.45										
18								10.15	50/30	24	14	12						
19								10.44										
20								11.15	50/28	17	20	13/8						
21								11.43										
22								12.15	36/30	11	11	14						
23								12.45										
24								13.15	50/25	15	16	19/5						
25								13.40										
26								14.15	40/30	11	13	16						
27								14.45										
28								15.15	45/30	13	15	17						
29								15.45										
30								16.15	50/24	13	25	12/4						
								16.39										
								17.15	50/20	30	20							
								17.35										

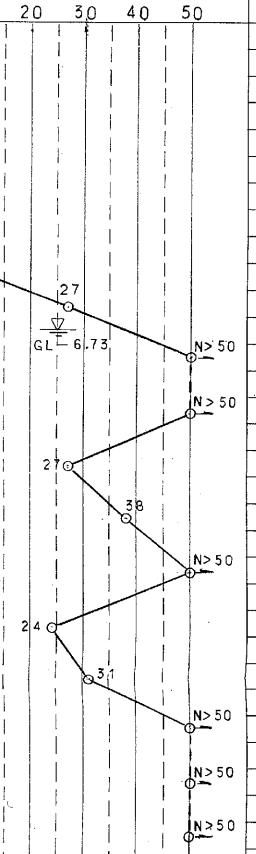


備 考
 注1) 試料採取方法の記号
 T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー
 P: 標準貫入試験用シンプラー O: オーガー
 D: デニソン型サンプラー
 注2) 原位置試験方法の記号

土 質 柱 状 図

調 査 名 上原市営住宅新築工事地質調査業務委託
 調査年月日 11年10月29日
 調査地点 宇都宮市富士見町37~4, 5
 標 高 GL-1.03 m
 ~11月10月30日
 ボーリング孔 No.5
 機種 D1-C
 孔内水位(自然, 泥) 5.70 m
 調査責任者

縮尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験												
				土質記号	土質名	色調	記 事	深さ m	標準貫入量 N/cm	10cmごとの 打撃回数			N 値							
										10cm	20cm	30cm	10	20	30	40	50			
	GL-1.03																			
0	-1.43	0.40	0.40	盛土	暗茶	ロームを主体とする盛土で、砕石・砂利等が混入している。上部、草根・竹根等が繁茂している。	1.15	1/34												
1	-1.98	0.95	0.55	盛土	茶褐		1.49	1/31												
2	-3.23	2.20	1.25	軽石	黄橙	固結状のローム。含水比中位程度で弱い粘性を有す。	2.46	4/30	2	1	1									
3			2.40	ローム	茶褐	径2~5mm程度を有し、団粒状を呈している軽石。風化しており著しく高い含水比と弱い粘性を有す。	3.15													
4	-5.26	4.60		ローム	茶褐	粘土化したローム。含水比高く、強い粘性を有す。深度3.40~3.50m間細砂を挟む。深度4mより炭化物の混入が目立つ。	3.45	1/30												
5	-6.23	5.20	0.60	凝灰質粘土	淡褐灰	火山灰起源の粘土で凝灰質を帯びる。粘性は弱く、ところどころに炭化物が混る。	4.45	27/30	5	9	13									
6				凝灰質粘土	淡褐灰	火山灰起源の粘土で凝灰質を帯びる。粘性は弱く、ところどころに炭化物が混る。	5.45	50/22	20	23	7/2									
7				凝灰質粘土	淡褐灰	火山灰起源の粘土で凝灰質を帯びる。粘性は弱く、ところどころに炭化物が混る。	6.37	50/25	18	24	8/5									
8				粘土混り砂礫	暗褐	径20~50mmの亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粘土混りの粗砂よりなる。深度7~8m間、径70mm程の礫が混入。深度6.9mで、若干量の逃水を生ず。深度1.20m付近、粘土をフィルム状に挟む。	7.40	27/30	9	7	11									
9			8.40	粘土混り砂礫	暗褐	径20~50mmの亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粘土混りの粗砂よりなる。深度7~8m間、径70mm程の礫が混入。深度6.9mで、若干量の逃水を生ず。深度1.20m付近、粘土をフィルム状に挟む。	8.15													
10				粘土混り砂礫	暗褐	径20~50mmの亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粘土混りの粗砂よりなる。深度7~8m間、径70mm程の礫が混入。深度6.9mで、若干量の逃水を生ず。深度1.20m付近、粘土をフィルム状に挟む。	8.45	38/30	14	14	12									
11				粘土混り砂礫	暗褐	径20~50mmの亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粘土混りの粗砂よりなる。深度7~8m間、径70mm程の礫が混入。深度6.9mで、若干量の逃水を生ず。深度1.20m付近、粘土をフィルム状に挟む。	9.15	50/28	18	14	18/8									
12				粘土混り砂礫	暗褐	径20~50mmの亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粘土混りの粗砂よりなる。深度7~8m間、径70mm程の礫が混入。深度6.9mで、若干量の逃水を生ず。深度1.20m付近、粘土をフィルム状に挟む。	9.45													
13	-14.63	13.60		粘土混り砂礫	暗褐	径20~50mmの亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粘土混りの粗砂よりなる。深度7~8m間、径70mm程の礫が混入。深度6.9mで、若干量の逃水を生ず。深度1.20m付近、粘土をフィルム状に挟む。	10.15	24/30	7	7	10									
14				粘土混り砂礫	暗褐	径20~50mmの亜角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粘土混りの粗砂よりなる。深度7~8m間、径70mm程の礫が混入。深度6.9mで、若干量の逃水を生ず。深度1.20m付近、粘土をフィルム状に挟む。	10.43													
15	-16.47	15.44	1.84	玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。	11.15	31/30	8	9	14									
16				玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。	11.45	50/14	38	12/4										
17				玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。	12.45													
18				玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。	13.15	50/21	28	15	7/1									
19				玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。	13.29													
20				玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。	14.15	50/29	15	15	20/9									
21				玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。	14.36													
22				玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。	15.15													
23				玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。	15.44													
24				玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。														
25				玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。														
26				玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。														
27				玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。														
28				玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。														
29				玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。														
30				玉石混り砂礫	暗褐	径2~65mmの亜角礫よりなる砂礫。マトリックスは粘土混り粗砂。全体に径100mm程の玉石が混入し最大150mm程度。礫種は硬質砂岩が多く、非常に締まっている。														

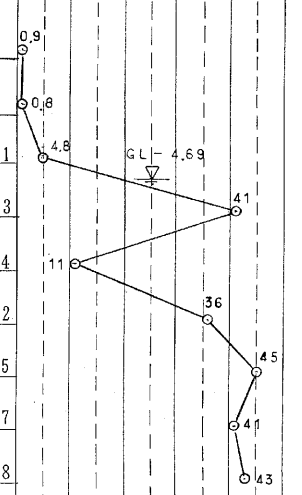


備 考
 注1) 試料採取方法の記号
 T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー
 P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー
 D: デニソン型サンプラー
 注2) 原位置試験方法の記号

土 質 柱 状 図

調 査 名 上原市営住宅新築工事地質調査業務委託
 調 査 地 点 宇都宮市富士見町37~4, 5
 ボーリング孔 No.6
 機 種 D1-C
 標 高 GL-0.99 m
 孔内水位(自然, 泥) 3.70 m
 調査年月日 1.1年11月4日
 ~1.1月11月5日
 調査責任者

縮尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験												
				土質記号	土質名	色調	記 事	深さ m	撻入量 回/cm	10cmごとの 打撃回数			N 値							
										10cm	20cm	30cm	10	20	30	40	50			
0	GL-0.99																			
1	-1.59	0.60	0.60	盛土	暗灰	有機質シルトを主体とする盛土。コンクリート片等の殻が混入している	1.15	1/33												
2	-1.99	1.00	0.40	ローム	茶褐	スコリア・軽石・火山ガラス等を混入したローム。含水比やや低く、固い性状を呈している。	1.48	1/39												
3	-3.29	2.30	1.30	軽石	黄橙	径2~10mm程度で、団粒状を呈す風化した軽石。ところどころに炭化物が混る。	2.54	5/31	2/13	1/7	2/11									
4	-4.59	3.60	1.30	ローム	茶褐	粘土化したローム。中位の粘性を有す。微粒子状の火山ガラスならびにわずかに炭化物と軽石片が混る。	3.46	41/30	16	12	13									
5	-6.04	5.05	1.45	玉石混り砂礫	暗茶灰	径10~60mmの円礫を主体とする砂礫	4.45	11/30	4	3	4									
6	-6.49	5.50	0.45	シルト混り砂	暗茶褐	ところどころに径100mm程の玉石が混入。深度3.60~3.80m間ならびに深度4.30~4.70m間、砂の占有率が高い。	5.45	36/30	12	12	12									
7			3.95	玉石混り砂礫	暗茶灰	径10~50mmの円~亜円礫を主体とする砂礫。マトリックスはシルト混りの粗砂。径80mm程の玉石が混る。深度8.0m付近より、径10~80mmの円~亜円礫主体。最大150mm程の玉石混入。マトリックスはシルト混りの粗砂であるが、淘汰性は不良である	6.45	45/30	15	15	15									
8					茶灰		7.45	41/30	9	15	17									
9					暗灰		8.45	43/30	13	12	18									
10	-10.44	9.45					9.45													



備 考
 注1) 試料採取方法の記号
 T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー
 P: 標準貫入試験用シンプラー O: オーガー
 D: デニソン型サンプラー
 注2) 原位置試験方法の記号